

1. 中堅社員研修(対象:主任・職場リーダークラス)

【ねらい】

チームリーダーに必要とされる知識とスキル(人間心理の理解、ファシリテーション力など)を身につける。
 リーダーとしての立ち位置を整理し、寄せられる期待を受け止め、リーダーシップ発揮の出発点となる「基軸」をつくる。
 チームの重要課題の実現に向けてアクションプランを作成し、受講者間での検討し、実効性高い計画にブラッシュアップする。

	第1日	第2日
AM	<p>オリエンテーション ・ディスカッションにおける目標の設定</p> <p>1. 事業環境の変化とリーダーとして果たすべき役割 【講義、グループ演習、グループ演習】 ・今日の環境変化と企業活動へのインパクト ・リーダーとして持つべき問題意識 <情報交換:身近に感じる社会/職場の変化></p>	<p>4. 人を巻き込む力 【講義、個人演習、グループ内発表】 ・人間心理の理解(モチベーションのメカニズム) ・関係者、関係組織との連携 <意見交換:一皮向けた体験、意欲が高まったとき></p> <p>・リーダーとしての説得力を高める ・論理的表現の活用と合意形成の推進</p>
PM	<p>2. チームマネジメントのためのリーダーシップ 【講義、個人演習、グループ内発表】 ・リーダーシップの捉え方 ・チームの課題の明確化(可視化と共有、分担) ・リーダーとしての基軸づくり <実体験の共有:危機的場面からの教訓></p> <p>3. リーダーとしての計画力 【講義、個人演習、グループ演習】 ・目的の確認と成果の定義 ・PDCAサイクルをまわすポイント ・スケジューリングの考え方と実践法 <セルフチェック:徹底すべき基本動作></p>	<p>5. リーダーシップの実践 【講義、個人演習、グループ内討議】 ・重要課題へのアプローチ ・業務改善に向けて <レビュー:目標達成に向けた私のシナリオ></p> <p>6. リーダーとしての自己開発 【講義、個人演習、グループ内発表】 ・自己の役割の再定義とこれからのチーム運営 ~ 育て、任せ、結果を出すために ~ <プロフェッショナルとしての覚悟></p> <p>まとめ 担当: <i>Sophiart</i> 竺原雅人</p>

2. ロジカルシンキング研修(対象:新入社員～若手社員)

【ねらい】

情報を鵜呑みにすることなく、批判的(クリティカル)な姿勢で向き合い、本質や事実を読み取る態度を習得する。
 事柄や概念を整理し、論理を組み立てるための方法と手順を理解する。
 聞き手や関係者にとってインパクトのある主張を実現するためのポイントを押さえる。

	主な項目
AM	1. ロジカルシンキングとは何か 【講義、個人演習】 ロジカルシンキングが求められる背景 <簡単な論理パズル> ロジカルシンキングに関する基本用語と概念の整理 論証の方法(演繹的論証と帰納的論証) 2. 論理的表現としての構造化 【講義、個人演習、グループ演習】 必要な情報の分類(基本ルールとしてのMECE)
PM	構造化の手法(ツリー、マトリクス、プロセス図) 説得力を高めるための論理の組み立て 3. ロジカルシンキングの実践 【ケースを用いた総合演習:グループ演習 プレゼンテーション 批判的検討】 ・資料の読み込みと事実の把握とその分類・整理 ・オプションの検討(判断基準の設定と評価) ・提言に向けた論理の組み立てと訴求 4. 本日のまとめ <p style="text-align: right;">担当: <i>Sophiart</i> 竺原雅人</p>

3. ロジカルコミュニケーション研修(対象:主に中堅社員)

【ねらい】

説得力の源泉となる論理思考を学ぶことで、中堅社員として会議を仕切る力を醸成する。
 論理思考と論理的表現を活用することで内外の関係者との合意形成を促し、職場の問題解決を推進する。
 他者と良好の関係を築き、納得と共感のコミュニケーションを推進するための方法を学ぶ。

	第1日	第2日
AM	1. 中堅社員に期待される思考と行動 【講義、個人・グループ演習】 中堅として持つべき問題意識 中堅社員にとってのリーダーシップ 権限によらない対人影響力としての論理思考 2. ロジカルシンキングの基本 【講義、個人演習、グループ演習】 意思決定のための情報活用(演繹法と帰納法) 論理をつなぐために ・縦の論理 (Why so? So what?)と横の論理(MECE)	(前日の続き) ロジカルシンキングの実践～総合演習～ 【プレゼンテーション、質疑応答】 ↓ 5. 中堅社員に求められるコミュニケーション力を磨く 【講義、ロールプレイング】 人間心理の理解
PM	本質の把握と情報の整理 3. ビジネスに活かす論理思考 【講義、グループ演習】 ・論理的表現としてのツリー、マトリクス、チャート ・各種フレームワークの活用 4. ロジカルシンキングの実践～総合演習～ 【グループ演習】 (2日目に続く)	聴く/聞く力を高める ・積極的傾聴(ロールプレイング) ・気づきを促す質問(ロールプレイング) アサーティブな表現を磨く 6. まとめ 講師: Sophiart 竺原 雅人

4. ロジカルコミュニケーション研修(対象:シニア社員)

【ねらい】

シニア社員に求められる「聴く力」、「話す力」、「書く力」を磨くためのポイントを修得する。
ソリューションのベースになる思考回路を身につけることにより、従来の経験と勘だけに頼る思考の転換をはかる。
相手が置かれている状況や相手の関心や理解を踏まえたコミュニケーションのあり方を演習を通して体得する。

	第1日	第2日
AM	<p>オリエンテーション 参加者への期待と研修における約束ごと</p> <p>1.ロジカルコミュニケーションとは 【講義、個人演習、グループ演習】 (1)論理をつなぐ ・縦の論理と横の論理 (2)コミュニケーションにおける盲点 演習:暗黙の前提の存在、ほか (3)情報の構造化の活用 ・構図の種類とその活用</p>	<p>(前日の振り返り) ケース討議</p> <p>目的の明確化と成果の定義</p> <p>3. 伝える力を磨く(1) 書く力 【講義、個人演習、相互レビュー】 ・目的を明確にする ・構成を考える 演習:報告文を書く、教訓を文書化する</p>
PM	<p>2. コミュニケーションの原点:聴く/聞く ~引き出す力、気づかせる力~ 【講義、ロールプレイング、個人演習】 (1)職場のコミュニケーションの持つ3つの側面 (2)人間心理の理解 (3)ロールプレイング:積極的傾聴 (4)聞き分ける力と探り出す力 (5)質問の技法 演習:新規顧客を訪問する 総合演習(グループ研究 プレゼンテーション) 夜間:自主研究(ケースのグループ討議)</p>	<p>4. 伝える力を磨く(2) 話す力 【講義、個人演習】 ・相手の関心事項を捉える ・要点を整理し、ピラミッド構造を活用する 演習:30秒スピーチ、2分間スピーチ</p> <p>5. 「伝える力」を磨く(3) その方法とタイミング 【講義、事例研究に基づくグループ討議】 演習:コミュニケーションのあり方を考える 伝達から合意形成へ</p> <p>まとめ</p>

講師: *Sophiart* 竺原 雅人

5. プレゼンテーションスキル強化研修

【ねらい】

聞き手の関心を引き付けるストーリーをつくり、制限時間の中での確に順序よく、伝えられるようにする。
自身の登壇態度や表現方法をビデオで確認しながら、強化・改善すべき課題を明確に把握する。
資料作成のポイントを学ぶとともに、想定される質問に対して備えができるようにする。

	主な項目	備考
AM	1. 効果的なプレゼンテーションとは ・プレゼンテーションの目的と成果 ・プレゼンテーションの基本的な流れ(確認) ・わかりやすさ、訴求力 2. プレゼンテーション(第1回) ・各自が用意した資料に基づくプレゼンテーション ・チェックリストに基づく評価と相互コメント ・改善点の洗い出し	講義 プレゼンテーション/ビデオ撮影 他の参加者による評価とコメント (「内容」と「表現」について)
PM	3. 効果的なプレゼンテーションを目指して ・訴求ポイントの明確化 ・構成、表現、視覚面からの見直し ・サマリーの作成とシナリオの再検討 4. プレゼンテーション(第2回) ・プレゼンテーションの状況対応や質疑応答 (チェックリストによる確認と準備) ・ふり返し 5. ふり返しとまとめ	講義/演習 ・準備シートの記入 ・PCを用いてリライト/リハーサル プレゼンテーション/ビデオ撮影 ・質問のロールプレイング 担当: <i>Sophiart</i> 竺原雅人

【必要備品】 ビデオカメラとモニター、 PC用プロジェクターとスクリーン、 ホワイトボード1枚、 参加者用PC(パワーポイント)